

学校だより



かきた

< 学校教育目標 >

「**自分のよさ(知性・感性)を発揮し、心豊かにたくましく生きる子ども**」を育成する
かしこく きよく たくましく

幸せにつながる笑顔

校長 大澤 崇

校庭の紫陽花が咲き始め、梅雨の訪れを感じる季節となりました。

先日運動会では、子供たちに温かいご声援をいただき、ありがとうございました。「全力！協力！運動会 最強無敵なかすみ北」のスローガンのもと、子供たちは友達と協力し、全力で取り組みました。特に私が感動したのは、チームの仲間や友達を懸命に応援している姿、全校児童が一丸となって盛り上がっている姿です。これこそが運動会の醍醐味であると感じました。笑顔あふれる子供たちの姿を、多くの保護者の方、地域の皆様に見ていただけたこと、大変嬉しく思います。保護者の皆様には前日準備や当日の片づけ等、ご協力いただきありがとうございました。

さて、今年度の目指す学校像「子供たちの笑顔あふれる『かすみ北』」に関わって、「笑顔」にまつわることわざを集めてみました。

- 笑う門には福来る（笑いが絶えない人の家には、幸福がやってくる。）
- 笑いは人の薬（笑うことは心と体の健康にとってよい薬となる。）
- 泣いて暮らすも一生笑って暮らすも一生（せつかくなら笑顔で人生を送ろう。）
- 笑って損した者なし（いつも笑顔の人は、他の人に好かれて幸福を招く。）

それぞれのことわざの意味を紐解いていくと、どれも「幸せ」につながっていくことがわかります。また、精神科医として多くの人を救ってきた斎藤茂太（斎藤茂吉の息子）は、「なんでも笑えば人間は変わる」（常に笑顔でいて何に対しても笑っていれば自分自身をよい方向へ変えることができる。）という言葉を残しています。科学的な見地からも、笑顔を意図的につくることで、幸せを感じる脳内物質が分泌され効果があると言われていています。

教育活動においても、子供たちの笑顔につながる取り組みをさらに推進していき、これからの社会を担う子供たちの「幸せ」につなげていきたいと思えます。

< 笑顔あふれる… >

1年生がニコニコしながらアサガオの芽を観察しています。出ている芽の数を数えたり、双葉の特徴を話し合ったり…友達と一緒にアサガオが生長していく喜びを感じていました。子供たちは日々、多くの感動を味わっています。

